

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得をする。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を实践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50%　小テスト：50%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅰ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大田　将以			実務経験	○
実務内容	薬の研究開発や薬剤師の経験を基に、美容師業務に必要な医学・衛生の知識を身につける授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～5章)	筋系、神経系、感覚器系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第6章～8章)	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造（毛）
6	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造（脂腺、汗腺、爪） および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能

8	総まとめ	テストを実施する
9	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
10	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習 （第1章～2章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習 （第3章～4章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる礼装の種類の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤　務			実務経験	○
実務内容	美容師として３７年の経験があり、その実務経験に基づいて国家資格合格へ向けて日本、西洋のファッション文化史の流れを習得させる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第３章　ファッション文化史日本編 第６節　近代（明治・大正・昭和２０年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第３章　ファッション文化史日本編 第６節　近代（明治・大正・昭和２０年まで）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第３章ファッション文化史日本編 第７節　現代Ⅰ（１９４５～１９５０年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第３章　ファッション文化史日本編 第７節　現代Ⅰ（１９４５～１９５０年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第３章　ファッション文化史日本編 第７節　現代Ⅰ（１９４５～１９５０年代）	現代Ⅰ（１９４５～１９５０年代）の髪型・服装・化粧について
6	第３章　ファッション文化史日本編 第８節　現代Ⅱ（１９６０～１９７０年代）	現代Ⅱ（１９６０～１９７０年代）の髪型・化粧・服装について

7	第3章 ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅲ（1980～1990年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について
8	第3章 ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅳ（2000年代以降）	現代Ⅳ（2000年代以降）
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	運営管理			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場の違いを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：５０％　小テスト：５０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	－				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	水下　翔太			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編　経営者の視点 第1章　経営とは・経営者とは 第1節　第2節	経営とは何か・継続企業の原則、経営の必要性を理解する
3	第1編　経営者の視点 第1章　経営とは・経営者とは 第3節　第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編　経営者の視点 第1章　経営とは・経営者とは 第5節　第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する
5	第2章　理容業・美容業の経営について 第1節　第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章　理容業・美容業の経営について 第3節　第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編　第3章　資金の管理 第1節　第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する

8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61
12	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前定期試験
15	振り返り	回答＆解説
16	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P80～P83
19	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P83～P85
20	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス（短期的要因）を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス（長期的要因）を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P124～P135
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤ 接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得をする。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ａ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	西澤　務			実務経験	○
実務内容	美容師として３７年の経験があり、その実務経験に基づいて国家資格合格へ向けて美容技術理論の流れを習得させる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論　2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルバック　8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 ・マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論　2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能　4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生　6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア　8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー＆フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論　2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩　4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具　6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・メイクアップの道具 ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング

6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ、つけまつ毛のテクニック・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	« 11章 日本髪 » 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	« 12章 着付けの理論と技術 » 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、 緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作、和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプー・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う

21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容業界の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得をする。				
評価基準	テストおよび小テスト：８０％ 授業態度：２０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	—				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	水下 翔太			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第１章 法制度の概要 第１節 第２節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割、日本の法令体系
2	第１章 法制度の概要 第３節 第４節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第２章 衛生行政の概要 第１節 ～ 第３節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第３章 理容師法・美容師法 第１節	「美容師法」の目的
5	第３章 理容師法・美容師法 第２節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第３章 理容師法・美容師法 第３節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解をする。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、授業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	衛生管理Ⅰ		
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	西澤 務	実務経験	○
実務内容	美容師として３７年の経験があり、その実務経験に基づいて衛生面について理解を深め、公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明するスキルを身につける授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な病気や生活習慣病など普段の生活に近い話) 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章 保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編 環境衛生 1章 環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康
4	第2編 環境衛生 1章 衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編 環境衛生 1章 衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する 振り返り・解説
7	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類

8	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
9	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編 感染症 2章 感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編 感染症 2章 感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編 感染症 2章 感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実践
20	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
21	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
22	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
23	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する 振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「保健Ⅰ・Ⅱ」、及び「美容実習Ⅱ」と関連させながら、実践的な知識の習得をする。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱い学び、化学の基本原理に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容美術理論Ⅰ				
備考	原則、この授業は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	鶴嶋　信一郎			実務経験	○
実務内容	美容室勤務１４年の実務経験と、メーカー講師として１８年の経験を基に、香粧品科学や美容機器等の適切な取り扱いができるよう教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 香粧品概論	先輩や講師自身の話をする　美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する　教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な薬剤の話など）
2	2章 香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習
3	2章 香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習　「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う

8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録1～付録2）	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録3～付録5）	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学（付録6～付録7）	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業のため、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	荒井 悦子			実務経験	○
実務内容	美容室勤務13年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール導入（手順、スライス、ビニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目 メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目 メイボール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目 メイボール復習、強化、7段目 クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目 左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目 メイボール、7段目 クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス

8	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目 右リフトカール、5 段目 左リフトカール計測 2 6 分 6 段目 メイポール、7 段目 クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール 1 2 分 7 段構成 計測 3 5～3 0 分、美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	7 段構成 計測 3 5～3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7 段構成 3 0～2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7 段構成 2 5 分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業のため、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。		
評価基準	ワインディング：総まとめ 20 % まとめ 15 % 提出物 10 % 授業態度 5 % 国家試験カット：総まとめ 20 % まとめ 15 % 提出物 10 % 授業態度 5 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 分の 4 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D・美容実習Ⅱ－E		
備考	・ 原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・ この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の 2 領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	小澤 樹里	実務経験	○
実務内容	美容室勤務 15 年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み 全頭巻き20分

7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業のため、時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウエーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	勇 果子			実務経験	○
実務内容	美容室勤務15年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カットニング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットニングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容師国家試験第2課題技術について基礎を理解し習得する。		
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	国家試験カット：総まとめ20％　まとめ15％　提出物10％　授業態度5％ 国家試験第2課題：総まとめ20％　まとめ15％　提出物10％　授業態度5％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「国家試験第2課題」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	小澤　樹里	実務経験	○
実務内容	美容室勤務15年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準に満たす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【国家試験第2課題】		
回数	単元	内容
1	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第2課題	国家試験第2課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カットティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業のため、試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。		
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。		
評価基準	総まとめ40％　まとめ30％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	荒井　悦子	実務経験	○
実務内容	美容室勤務13年の実務経験を活かし、国家試験資格合格に向けて合格基準を満たす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第 1 課題・第 2 課題 総まとめ	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	就職ガイドブック			出版社	株式会社ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身につける。 卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身についている。				
評価基準	テスト：50％ 提出物：30％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	船橋 光太郎 他3名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的 目標設定	就職指導を行う目的を理解 就職決定までの目標設定
2	言葉遣い	言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	自分が希望する就職先、職務内容について再確認する 希望に向けての課題を理解する
4	自己PR	自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	就職活動に必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれのポイント
7	ビジネスマナー	ビジネスメール 電話のマナー

8	一般常識	一般常識対策
9	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	おすすめ商品をピックアップし、商品紹介（プレゼン）内容を考える
11	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	商品紹介(プレゼン)
13	テスト	前期末試験
14	SNSについて	SNSのマナー 有効的な使用方法
15	まとめ	前期総まとめ
16	前期の振り返り	前期の振り返り
17	働く意義	何のために働くか 働く上で大切なこと
18	人間力	社会人として求められていること 社会人と学生との違い
19	人間力	愛される人材とは 感謝の気持ち
20	自分の理想像	自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	社会人として備えるべきマナーについて
23	電話応対	電話応対の方法
24	来客応対	来客時の応対方法
25	一般常識	就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	後期末試験
29	後期まとめ	後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも (モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ (2本セット)・足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。 【美容科ブライダルコース】：上記知識だけでなく花嫁着付の知識も修得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身に付ける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、『きもの着付3級(6月強制受験 免許強制)』『きもの着付2級(12月強制受験 免許任意)』を取得することが出来る。 【美容科ブライダルコース】：上記免許に追加して、『花嫁着付3級(12月強制受験 免許強制)』を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付資格・花嫁着付資格				
関連科目	—				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は美容科ブライダルコースのみ別途シラバス展開されるため、以下「各回の展開」はコース別に記載する。				
担当教員	菅野 洋子			実務経験	○
実務内容	フォトスタジオ着付け3年・成人式/卒業式着付け13年の実務経験に基づき、着付けの知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開（ヘアスタイリストコース・ヘアメイク&アイラッシュコース・ネイル&アイラッシュコース）

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3		小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4		小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5		半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する

6	小紋の着せ方	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7		小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8		小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14		お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17		袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18		袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23		振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
26	座学	着物のTPO（プリント③④）を学ぶ
27	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
28	留袖の着せ方2 紋服の着せ方	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ 紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について

29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う
各回の展開（ライダルコース）		
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方	考查票の記入、振袖着付を仕上げる（検定対策）
2		振袖着付を仕上げる（検定対策）
3		振袖着付を仕上げる（検定対策）
4		振袖着付を仕上げる（検定対策）
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
7	留袖の着せ方	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8		二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
10	座学	着物のTPO（プリント③④）を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13		補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14		補整、長襦袢、掛下の着せ方（衿合わせ）を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う

16	花嫁着付	考查票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
17		掛下までの着付を実践（復習）する
18		掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19		掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
21		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
23		掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付 3 級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・褌どり・お搔い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【カット・パーマ・カラー】カットの基本やカラーなど技術、美容師としての心構えを身につけ、技術の楽しさを知り美容師の計り知れない魅力に触れてもらう。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し、現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる。		
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック、メイクアップ検定アドヴァンス検定		
関連科目	サロンワークＡ・美容実践Ⅰ-A		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の２領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	(カット・パーマ・カラー) 駒津　聡 (ベーシックメイク) 東間　浩子、他２名	実務経験	○
実務内容	(駒津) 美容師歴２１年の経験を活かし、カットの美しさや魅力を伝え、最低限の技術を習得させる。 (東間) 美容師免許を取得後、メイクアップアーティストとしてヘアメイク事務所で約２年勤務。アイリストと眉のワックス脱毛やデザインングをするサロンで２年程勤務。メイクの基礎やまつ毛エクステンションの基礎知識や実技を活かす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット・パーマ・カラー】

回数	単元	内容
1	カットting技術	カットting技術基礎
2	カットting技術	カットting技術基礎
3	カットting技術	カットting技術基礎
4	カットting技術	カットting技術基礎
5	カットting技術	カットting技術基礎
6	コンテスト技術／カットting	コンテストデザインに合わせカットting、応用カットting技術

7	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカットティング、応用カットティング技術
8	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
9	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
10	コンテスト技術／カットティング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
11	総合授業	作品制作
12	総合授業	作品制作
13	総合授業	作品制作
14	総まとめ	テストを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）、スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで利用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック、メイクアップ検定アドヴァンス検定		
関連科目	美容実践Ⅰ－B		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は（特殊・アーティスト・モデルメイク）＋（ベーシックメイク）の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	東間 浩子、他1名	実務経験	○
実務内容	美容師免許を取得後、メイクアップアーティストとしてヘアメイク事務所で約2年勤務。アイリストと眉のワックス脱毛やデザインングをするサロンで2年程勤務。メイクの基礎やまつ毛エクステンションの基礎知識や実技を活かす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにメイクの歴史や特徴、当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにメイクの歴史や特徴、当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにメイクの歴史や特徴、当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにメイクの歴史や特徴、当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせてメイクアップを行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせてメイクアップを行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせてメイクアップを行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせてメイクアップを行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分にてブレ検定を行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し、現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック、ブライダルメイク検定 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容実践Ⅰ－C		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ブライダルエステ」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	後藤 導絵 他1名	実務経験	○
実務内容	フォトスタジオに2年間勤務後、結婚式場にてヘアメイク、アテンドを専門に勤務。その後フリーランスとしてブライダル、広告撮影、MV撮影などを手掛ける。上記の経験からヘアメイクの実技に活かす授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習

7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 × 2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージ－ふき取り－整肌－誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
15	総合授業	総まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、ＪＮＡジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する。		
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルに技術と共にＪＮＡジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身につける。		
評価基準	検定結果３０％・授業態度他１０％・筆記テスト３０％・実技テスト３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	ＪＮＥＣネイリスト技能検定３級、ＪＮＡジェルネイル検定初級		
関連科目	—		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	成田有美	実務経験	○
実務内容	日本ネイリスト協会本部認定講師、サロンワーク歴２１年、ジェルメーカーエデュケーター。 サロンワーク現役のため、業界の現状を踏まえ、検定だけでなく実務で使える授業を展開する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック 1年次復習
	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック 1年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習

4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキスト ベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ネイル検定対策】NPO法人日本ネイリスト協会 【ベーシックメイク】株式会社ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】基礎的なマニキュア技術を実践でき、ＪＮＥＣネイリスト技能検定３級取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できるようになる。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得する。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【ネイル検定対策】（検定結果１５％・授業態度他５％・筆記テスト１５％・実技テスト１５％） ・【ベーシックメイク】（テスト３０％、提出物１０％　授業意欲１０％）		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	ＪＮＥＣネイリスト技能検定３級、ＪＮＡジェルネイル検定初級、 メイクアップ検定ベーシック、メイクアップ検定アドヴァンス検定		
関連科目	美容実践Ⅰ-E		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ネイル検定対策」「ベーシックメイク」の２領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア（シルクラップ）デモ・実技	ラップ素材を使用して爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し、受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント

7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験	実技試験
13	実技試験	実技試験
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	—			出版社	—

科目の基礎情報②

授業のねらい	カットの基本やカラーなど技術、美容師としての心構えを身につけ、技術の楽しさを知り美容師の計り知れない魅力に触れてもらうこと。				
到達目標	カッティング技術基本である、ワンレングス・グラデーション・レイヤーを理解しカットの習得を目標とする。				
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容実践Ⅱ - A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	駒津　聡			実務経験	○
実務内容	美容師歴21年の経験を活かし、カットの美しさや魅力を伝え、最低限の技術を習得させる。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【サロンワーク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 カット基礎
2	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
3	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
4	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
5	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
6	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
7	まとめ	まとめを実施する
8	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術

9	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
10	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
11	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
12	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
13	カッティング	サロンで活用できるカッティング技術
14	総まとめ	総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアメイク道具一式			出版社	—

科目の基礎情報②

授業のねらい	サロンや撮影などヘアメイクの現場で生きる知識・技術を学ぶ。				
到達目標	メイク&ファッション業界のトレンドや歴史に触れて感性を磨き、各ジャンルにおけるヘアメイク技術の基礎を身につける。				
評価基準	筆記テスト10%、実技テスト50%、提出物20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	—				
関連科目	—				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	門井 彩			実務経験	○
実務内容	美容室勤務8年/劇場ヘアメイク8年/テーマパークヘアメイク2年。 サロンワーク経験を経てヘアアレンジやメイクデザイン等、特殊メイクを主に経験し幅広いヘアメイクの授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メイクの歴史	授業の目的目標、評価基準、メイクの歴史について
2	筆記テスト・ベースメイク	筆記テスト、スキンケア～ベースメイク
3	コントゥアリングメイク	スキンケア～コントゥアリングメイク、カットクリース（1960sツイッギーイメージ）
4	色指定メイク・アイブロウテクニック	質感やトーンなどバランスを考えるメイク、アイブロウと骨格の似合わせについて、ブロウリフトについて
5	ヘアとメイクのバランス・カウンセリング	ベースメイクテスト、ヘアメイクによる印象操作やマッチングについて、カウンセリングテクニック
6	海外アジアメイク①	中国 純欲メイク
7	海外アジアメイク②	タイ スワイメイク

8	コスメ広告ヘアメイク①	国内ブランド
9	コスメ広告ヘアメイク②	海外ブランド
10	ブランド研究(コスメ)	コスメブランドについて研究、シート作成、ブランドイメージのヘアメイク
11	ブランド研究(ファッション)	ファッションブランドについて研究、シート作成、ブランドイメージのヘアメイク
12	ブライダルヘアメイク①	ブライダルメイク概論、テーマに合わせたヘアメイク
13	ブライダルヘアメイク②	ブライダルヘア概論、テーマに合わせたヘアメイク
14	撮影ヘアメイクテスト①	スチール撮影を想定したヘアメイク、ヘアメイクチェンジ
15	撮影ヘアメイクテスト②	スチール撮影を想定したヘアメイク、ヘアメイクチェンジ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアメイク道具一式			出版社	一

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルの現場における基礎知識を習得し、現場を意識した技術を出来るようになる。				
到達目標	ブライダルの基礎を理解し、現場に出ても即戦力となれるレベルの知識・技術を身につける。				
評価基準	実技テスト50%、筆記テスト10%、提出物20%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一				
関連科目	一				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	久保 妃那子			実務経験	○
実務内容	ヘアメイクアーティストとして、CMや広告、ショーなどの現場でファッションヘアメイクを経験。この経験を基に、ヘアメイクの基礎から応用までを習得させる授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・ブライダル概論 ・ブライダルメイクについて	授業の目的目標、評価基準、ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類、ブライダルメイクとカジュアルメイクの違い
2	筆記テスト・ベースメイク	ブライダルメイクの基本(スキんケア～ベースメイク)
3	コントゥアリングメイク	スキんケア～ベースメイク(コントゥアリング)、ポイントメイク
4	ベースメイク・ヘアアレンジ	スキんケア～ベースメイクテスト、ヘアアレンジ(相モデル)
5	フルメイク・ヘアアレンジ	テーマ『ナチュラル』
6	フルメイク・ヘアアレンジ	テーマ『エレガント』
7	ヘア概論・カウンセリングテクニク・ヘアメイクリハーサル	ヘアの似合わせ、ヘアードについて、カウンセリングシート作成、ヘアメイクリハについて、お色直しについて

8	ヘアメイクリハーサル(前半)	カウンセリング～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング、ヘアメイク写真の撮り方
9	ヘアメイクリハーサル(後半)	カウンセリング～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
10	ヘアメイクリハーサル(前半)	カウンセリング(テスト)～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
11	ヘアメイクリハーサル(後半)	カウンセリング(テスト)～ヘアメイクリハ通し 相モデルにてロールプレイング
12	ロケーション撮影向けヘアメイク	テーマ『海岸や森林など自然系』
13	ロケーション撮影向けヘアメイク	テーマ『東京駅系』
14	挙式ヘアメイク	相モデルのイメージに合わせたヘアメイク(テスト)
15	和装知識・留袖ヘアメイク	和装知識(ゲスト向け)、留袖ヘアメイク(※ヘアはウィッグにて)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークーD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークーD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions教科書 まつ毛エクステンション教材一式 JNAテクニカルシステム ベーシックネイル用具一式		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	A B E まつ毛エクステンション検定合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。 基礎的なマニキュア技術を実践でき、 J N E C ネイリスト技能検定 3 級取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる。		
到達目標	A B E まつ毛エクステンション検定合格レベルの技術と筆記理論を習得する。 ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得する。		
評価基準	テスト 3 0 %　授業態度 1 0 %　提出物 1 0 % J N E C ネイリスト技能検定 3 級検定結果 1 5 % ・授業態度他 5 % ・筆記テスト 1 5 % ・実技テスト 1 5 %		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上の者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	A B E まつ毛エクステンション検定 J N E C ネイリスト技能検定3級・2級、JNAジェルネイル検定初級・中級		
関連科目	美容技術理論Ⅱ 美容実践Ⅱ-D		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【理論】 道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
2	【実技】 ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
3	【理論】 衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
4	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
5	【理論】 保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
6	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する

7	【理論】保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
8	【実技】テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
9	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
10	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
11	【理論】カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
12	【実技】装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
13	【理論】テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
14	まとめ	実技のテストを行う
15	まとめ	実技・筆記のテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークーE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークーE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類 JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ ジェルネイル			出版社	日本エステティック協会・日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルエステの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、特性を理解し説明して施術が出来る。 ジェルの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、特性を理解し説明して施術が出来る。				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、JNAジェルネイル技能検定初級取得を目指す。				
評価基準	実技試験40％(フェイシャル20％・ボディ20％)授業態度・提出物10％ 初級検定結果15％・授業態度他5％・筆記テスト15％・実技テスト15％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン JNECネイリスト検定3級・2級・1級 JNAジェルネイル技能検定初級				
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ボディエステティックの目的と効果・ボディエステティックの流れ
2	接客マナー	挨拶・身だしなみ・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導
3	前操作	ボディトリートメント/手の使用部位
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～下肢後面通し練習

7	ボディ実技試験	成績評価①
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入練習
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・マッサージ・拭取り 練習
12	フェイシャルマッサージ 4	クレンジングから拭取りまで 練習
13	フェイシャル実技試験	成績評価②
14	マッサージ総合・マスク	実技総合 フェイシャル・ボディマッサージ・マスク
15	総合授業	実技のテストを行う
16	導入・教材の名称及び説明 ジェル講義・オフの仕方・デモ	教材説明 ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ
17	クリア・カラー実技 (自分の爪)	
18	クリア・カラー実技 (相モデル)	
19	クリア・カラー実技 (相モデル)	
20	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどの ジェルアートの基礎を学ぶ
21	ジェルアート	
22	JNAジェルネイル技能検定初級説明・デモ JNAジェルネイル技能検定初級DVD※	JNAジェルネイル技能検定初級内容を学び・技術をマスターする ※受験時期により内容を前後させて行う ※必要に応じて検定DVDやデモを見る
23	JNAジェルネイル技能検定初級検定実技	
24	JNAジェルネイル技能検定初級実技	
25	筆記テスト JNAジェルネイル技能検定初級実技	
26	実技テスト	
27	JNAジェルネイル技能検定中級について フ レンチ・グラデーション デモ 中級DVD	JNAジェルネイル技能検定中級について内容を理解する
28	フレンチ・グラデーション実技	フレンチ・グラデーション実技を行う
29	ジェルスカ(クリア)(中級対応) デモ 実技	ジェル・スカルプチャー実技を行う
30	総合授業	総まとめを行う